

質問に対する回答書

令和 3年 7月 1日
(7月8日 朱書補足)

工 事 名 : 福岡前原道路 今宿高架橋 橋梁耐震補強工事 (R3-1 工区)

質 問 及 び 回 答 事 項

【質問】

- 1, 見積書 (内訳) に夜間と記載されている工種のみが夜間施工と理解してよろしいでしょうか?
- 2, P6 の水平力分担構造設置の際、国道 202 号を夜間 1 車線規制して 16t クレーンを設置する計画ですが、アウトリガーの全張り出しが不可能と思われるのですが、安全を考慮したうえでの機械配置でしょうか?
- 3, P7 の下り線側に足場を設置した際、建築限界ギリギリだと思われるのですがいかがでしょうか?
- 4, ライフプレート・補強リングが前回工事の分を流用する設計ですが、ひずみ等の発生もなく組立可能でしょうか? ボルト・ワッシャー等も転用する設計でしょうか?

【回答】

- 1, 見積書 (内訳) に記載のある工種のみ、夜間施工の計画としております。
ただし、コンクリート巻き立て工 (P7)、縁端拡幅工 (P6、P7) については、コンクリート打設のみ夜間とし、型枠工等の作業は昼間施工となります。
- 2, ブラケットの重量、クレーン車とブラケット設置位置の距離を考慮し、16t クレーンのアウトリガーは中間張り出しで計画しております。
- 3, P6 工事の実績では、既設構造物 (梁) の下端と足場工天端の離隔は 500 であった為、足場部材の厚み 300 を差し引いても 300 程度の余裕が確保出来ると考えております (車道と路肩の境)。詳細は別図 1 をご参照下さい。
- 4, P6 工事で撤去の際に損傷なしを確認しており、全て転用する設計としております。
なお、受注後に確認のうえ発注者との協議を行い、必要があると認められる場合は設計変更を行います。